

消防本部の方針書

部 名	消防本部
部長名	高田 俊之

1. 部の使命(ありたい姿)

災害からいのちと暮らしを守り、安心できるまちづくりを進めます	
担当政策	政策3:豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
担当施策	3-3:災害に強いまちづくりの推進

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ○安全確実な業務の遂行のため、事故防止対策のほか、安全を管理する指揮隊の常時運用や健康対策を進めています。 ○消防職員としての服務規律を遵守するとともに、訓練、研修等を通じて能力向上を図る人材育成を進めています。 ○災害に強いまちづくりのため、消防団との連携強化、消防指令システムなどの施設整備、火災予防を進めています。
--

3. 今年度の『スローガン』

<p>誇りと責任を持ち、市民に寄り添う消防</p>

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> 1、災害現場の最前線で信頼と期待に応える人材を育成します 2、消防施設の整備や体制強化を図り災害に強いまちづくりを進めます 3、出火防止や被害の軽減を図る火災予防対策を進めます
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	1、災害現場の最前線で信頼と期待に応える人材の育成
	取組内容	1、服務規律を遵守し高い使命感を持つ職員の育成と人材確保の推進 2、専門的な研修や資格取得による能力向上の推進 3、安全的確実な活動要領、時代に即した教育訓練の推進 4、心身とも健康で士気の高い職場環境の推進
(2)	実現したい成果	2、災害に強いまちづくり
	取組内容	1、消防車両、消防水利など消防施設の整備、維持管理の推進 2、救急救命体制の充実強化の推進 3、消防指令体制の充実強化の推進 4、消防団との連携強化の推進
(3)	実現したい成果	3、火災予防対策の推進
	取組内容	1、事業所の適切な消防用設備等の設置、防火管理体制の推進 2、一般住宅の住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 3、出火防止対策など予防広報の推進 4、火災原因調査、査察能力の向上

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 災害現場の最前線で信頼と期待に応える人材の育成
 - ・各所属長と意思統一を図り、コンプライアンス活動などを通じて、服務規律を遵守し使命感をもって職務にあたる組織づくりを図っている。
 - ・救急救命士養成研修1名、指導救命士養成研修1名、消防救急緊急自動車運転技能者研修1名、県消防学校初任教育など上期計画の研修がすべて修了したほか、梯子車、救助工作車などの特殊消防車両の機関員資格13名、大型自動車免許3名、移動式小型クレーン免許2名、玉掛け免許2名が取得した。
 - ・安全衛生ミーティングを月1回開催し、季節ごとの留意点や対策を各所属長が共有するなど、安全意識の向上に取り組み、公務災害、公用車の事故ともに無事故を継続しているほか、先進的な知見、技術を取り入れた火災戦術講習を実施。
 - ・惨事ストレス対策として対策要綱に基づくミーティングを実施しているほか、健康対策として職員検診を実施中。
- (2) 災害に強いまちづくり
 - ・消防車両の更新、耐震性貯水槽の建設など本年度予定している施設整備事業すべて契約締結済み。
 - ・救急救命体制の充実強化のため、救急隊員教育訓練や救急業務における事故防止対策を推進するとともに、救急フェア、救急のつどいの開催を通じて応急手当普及啓発活動を推進。
 - ・消防指令体制の充実強化のため、高機能消防指令センター更新整備工事に着工するとともに、通信指令員の教育訓練や市民に対するわかりやすい119番通報の啓発を推進。
 - ・消防団員の年額報酬の増額、休団制度の導入に係る条例を改正し処遇改善を図るとともに、消防操法訓練、水防講習会、救命ボート操船訓練など各種訓練を通じて連携を推進。
- (3) 火災予防対策の推進
 - ・事業所への立入検査等を通じた消防用設備の重大違反の是正など適切な防火管理体制を推進。
 - ・各所属において、住宅用火災警報器の設置、維持に係る住宅調査を継続。
 - ・火災が多発する春季、冬季など季節に応じた警戒巡回、予防広報を強化。
 - ・火災原因損害調査などの実地において、指導的立場の職員による若手職員へのOJT教育を推進。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 災害現場の最前線で信頼と期待に応える人材の育成
 - ・各所属長と意見交換を重ね、服務規律の遵守や事務ミス根絶のための取組みを徹底し、職員の自覚を深め使命感をもって職務にあたる組織づくりにつなげる。
 - ・県消防学校の教育研修など下期計画研修を完全実施するとともに、大型自動車免許取得者に対する助成など資格取得を推進。
 - ・上期に実施した火災戦術講習を基礎とした実践的総合訓練を実施し、先進技術の定着を目指す。
 - ・災害出場後の惨事ストレス対策ミーティングを継続するほか、健康診断での再検査対象者の受診率向上を図る。
- (2) 災害に強いまちづくり
 - ・消防車両の更新、耐震性貯水槽の建設など本年度の施設整備事業を適切に実施する。
 - ・救急隊員教育計画を完全実施するほか、医学会等での症例発表や他消防本部等との合同訓練を通じて救急サービスの質の向上を図る。
 - ・高機能消防指令センター更新整備工事の1年目事業を着実に進めるとともに、県主催の通信指令員研修や外国人対応訓練などを通じて指令員のレベルアップを図るほか、多様な119番通報対応に向けてNET119緊急通報システムの利用促進を図る。
 - ・消防団と合同で救助活動に係る車両破壊訓練を実施。
- (3) 火災予防対策の推進
 - ・事業所への立入検査等を通じた消防用設備の重大違反の是正など適切な防火管理体制を継続。
 - ・住宅用火災警報器の設置、維持に係る座談会など市民広報を推進。
 - ・火気の取扱いが増える冬季やごみ焼きの延焼火災が増える年度末の春季における警戒巡回を強化。
 - ・指導的立場の職員による若手職員へのOJT教育を継続するとともに、消防大学校で専門的知識を履修した職員を指導者とした合同研修会を実施。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 災害現場の最前線で信頼と期待に応える人材の育成

- ・安全衛生委員会を定期に開催し、各所属でのコンプライアンス意識や倫理観等の醸成に繋げながら、誇りと使命感をもって職務にあたる組織づくりに努めた。
- ・県消防学校の教育研修など計画研修を完全実施するとともに、大型自動車免許取得者に対する助成など資格取得を推進した。
- ・火災戦術講習を基礎とした総合想定訓練をはじめ、河川救助訓練、山岳救助訓練、NBC災害対応訓練、解体予定施設を使用したドア開放訓練、座屈建物救助訓練など時代に即した各種訓練を実施し先進技術の定着を図った。
- ・惨事ストレス対策ミーティングを継続したほか、二次健診の受診を奨励するなど職員の健康増進を支援した。
- ・引き続き、職員が健康で高い使命感をもって職務にあたる組織づくりに努めるとともに、時代に即した各種訓練、専門研修や資格取得などを推進し、災害現場の最前線で市民の信頼と期待に応える人材育成を継続する。

(2) 災害に強いまちづくり

- ・消防車両の更新や耐震性貯水槽の建設など本年度予定事業を着実に推進した。
- ・救急救命体制の充実強化に向け、救急隊員の研修訓練計画に従った教育訓練を完全実施したほか、医学会等での症例発表や他消防本部との合同訓練等を通じて救急サービスの質の向上に繋げた。
- ・消防指令体制の充実強化に向け、高機能消防指令センター更新事業を着実に推進するとともに、県主催の通信指令員研修会に参加した職員による教育研修を実施し事案対応力向上に繋げた。また、多様な119番通報へ対応するため、聴覚や言語機能等の障がいにより言葉による通報が困難な方に対してNET119緊急通報システムの登録を促進したほか、外国語指導助手(ALT)の協力を得て外国語通報に係る三者通訳訓練を実施した。
- ・消防団と合同で救命ボートの操船訓練や救助活動に係る車両破壊訓練を実施するなど連携強化を図った。
- ・引き続き、消防施設を着実に整備していくとともに、救急救命体制、消防指令体制の充実と消防団との連携強化を図り、災害に強いまちづくりを継続する。

(3) 火災予防対策の推進

- ・事業所への立入検査等を通じて消防用設備の重大違反の是正など適切な防火管理体制を推進した。
- ・住宅用火災警報器の設置、維持に係る座談会など市民広報を推進した。
- ・火気の取扱いが増える冬季やごみ焼きの延焼火災が増える年度末の春季における警戒巡回を強化し、出火防止に努めた。
- ・指導的立場の職員による若手職員へのOJT教育の継続や消防大学校で専門的知識を履修した職員を指導者とした合同研修会を通じて職員の能力向上を図った。
- ・引き続き、事業所の適切な防火管理体制の推進や一般住宅への住宅用火災警報器の普及啓発など、火災予防対策を継続する。